

技術士 1 次試験に合格して



森本 千誠

(もりもと ちせい)

勤務先

北海道旅客鉄道株式会社

苗穂運転所 検修科

〒065-0004 札幌市東区北 4 条東 15 丁目

TEL 011-711-0367

E-mail 0616mochi@gmail.com

■ 専門：金属部門

1. 自己紹介

出身は熊本県で、1992 年に生まれてから高校卒業までを地元で過ごしました。北海道には大学進学を機に移り住み、そのまま今に至ります。

大学では金属工学を専攻しました。しかしこれは建前で、実際は学生生活の大半を柔道部での活動に費やしました。「出身学部は？」と尋ねられても、「柔道部です」と答えた方が適当であるような気がします。単位取得のために講義への出席はしつつも、練習で疲労した身体と頭は知識を受け容れてくれず、常に睡魔と鎬を削っていました。学問と部活の二足の草鞋どころではなく、勉学の方にかなりの下駄を履かせていただいて何とか修了できた、そんな学生生活でした。ちなみに柔道は現在も続けており、指導者として後輩たちと関わっています。

仕事について。現在は鉄道車両の検修作業に携わっています。定期的な検査や突発的な修繕を、実際に行うのが私の業務です。現場作業に携わりつつ、車両の勉強もしておりますが、現状金属工学の知識はあまり出番がありません。なんとかもっと活かさないだろうか、というのが個人的な課題の 1 つです。

2. 受験のきっかけ

「技術士」という資格については、職場の上司から教えていただきました。入社 1 年目の冬頃でした。その後ネットや書物から情報を得て、馴染みのある金属部門を受験することに決めました。

3. 試験勉強

基礎・適性科目のものと、金属部門のもの計 2 冊

の参考書を基に勉強しました。年明けくらいから始め、主に職場にて、朝の始業前や昼休みなどの隙間時間を活用しました。職場で勉強をすることで、周囲の先輩方の目もあり、良い意味で自分へのプレッシャーにもなりました。

勉強法としては、参考書を繰り返し読むことを意識しました。最初は流し読み程度で大筋を掴み、2 周目はそれぞれの文章を丁寧に読んで意味を理解し、それ以降は知識の定着が出来ているかどうかを確認していく、というスタイルです。試験本番では、基礎・適性科目については問題なく解き終わりましたが、専門科目の方であやふやな理解をしていた部分が多く、正直、絶対の自信は得られませんでした。結果はギリギリ (26/50 点) で合格ということで、ほっとしました。

4. 今後の展望

30 歳までに、技術士第二次試験の合格を目指します。また、金属部門の技術士は数が少なく知名度も低い印象ですので、その辺りの、地位向上にも関わられたら、と考えています。

また、技術士会には色々な活動があるようで、時間を作って少しずつでも勉強させていただきたいと思っています。至らぬ点が多くありますが、どうぞよろしくお願いいたします。